

2021年度東海大学付属熊本星翔高等学校 学校評価結果

分野	重点目標	取組み計画・内容	分野の達成度		次年度	第三者評価						
			成果	課題		2021年度	2020年度	今後の改善策	取組み内容の改善	自己評価 妥当性	改善策 妥当性	
学校運営	・学校運営方針に沿った教育活動を実践する。 ・地域から高い評価を受ける学校づくりと中学校や保護者を選ばれる学校づくりに邁進する。	(1) 学校の特色を示す。	(1) 約80%の達成度。生徒2.2%増、保護者1.0%増、教職員0.7%減。	(1) 概ね良好。学習と部活動の両立を掲げているため、両面での成果が欲しい。	生徒 80.2%	生徒 72.0%	(1)・(2) 学習面の向上が必要。中間層を上位へ押し上げていく授業展開が必要。基礎学力の定着から応用へと向上させたい。 (3) 安心安全な学校としていくため、教職員による巡回を増加させていく。特に問題発生時の初動対応はしっかりと取り組むたい。 (4) 人間教育に力を入れたい。マナーや集団生活における個の役割について教育していきたい。 (5) エアコンの故障が相次ぐため、まずはこちらを改善したい。 (6) 保護者は子供を教育していくためのパートナーである。適切に対応するとともに、連絡を密にして、個々の生徒を育成したい。 (7) 本校の教育を広く周知してもらおう、参観の機会やICTを活用して可視化できるよう工夫を行いたい。	(1)・(2) 定期試験に履修単元以外からの実力問題を取り入れる。部活動のさらなる活性化と学習面の強化で、真の文武両道を目指していく。 (3) 月に一度、産業界と校内巡視を行い、外部の視点から確認してもらおう。授業が入っていない教職員で、定期的に見回りを行う。 (4) 生徒を尊重し、行動には責任を持たせていく。教職員は、生徒の意見を傾聴する。 (5) エアコン改修工事の予定。 (6) 保護者と電話連絡をマメに行い、学校の様子を伝達するとともに、家庭での様子を把握する。悪いことばかりでなく、良いことの報告も行う。 (7) 保護者会ホームページ立ち上げ、PTA新聞をウェブ化することで、閲覧者の拡張を図る。	-	-		
		(2) 入学したい・させたい学校とする。	(2) 約85%の達成度。生徒6.6%増、保護者2.6%増。	(2) 概ね良好。専願入試受験者は増加、一方、奨学生入試減少。学習の充実が必要。							保護者 82.0%	保護者 80.7%
		(3) 危機管理・安全対策に努める。	(3) 約80%の達成度。生徒14%、保護者0.1%減、教職員4.9%増。	(3) 概ね良好。施錠の徹底、貴重品の預り等のさらなる強化が求められる。								
		(4) 教育に熱心に取り組む。	(4) 約81%の達成度。生徒10.2%、保護者2.1%増、教職員2.2%減。	(4) 概ね良好。学校の根本であるため、さらなる向上が必要。	教職員 75.7%	教職員 75.5%						
		(5) 施設設備等教育環境の充実に努める。	(5) 約83%の達成度。保護者0.5%増、教職員0.2%増。	(5) 概ね良好。予算の都合上、計画的に進めていく。								
		(6) 保護者対応の充実に努める。	(6) 約83%の達成度。保護者1.5%増、教職員1.1%減。	(6) 概ね良好。保護者・教員連携を密にし、生徒の育成に努めたい。								
		(7) 保護者・地域との連携と情報発信に努める。	(7) 約79%の達成度。保護者1.4%増、教職員2.5%増。	(7) 教育活動を広く知ってもらうための方策を検討する必要がある。								
学習指導	・基礎学力の定着を図る。 ・授業の充実を図る。	(1) 基礎学力の定着に努める。	(1) 約81%の達成度。生徒3.9%増、教職員1.8%減。	(1) 概ね良好。教職員としては、さらなる定着を目指す必要がある。	生徒 74.0%	生徒 71.5%	(1) 上記(1)・(2)で記載したが、実力を養成が大切。中間層を押し上げるために、定期試験に実力問題を加えた作問を行いたい。 (2)・(3) 試験前に学習する姿を多く目にする。目標が定まれば努力する。卒業後の進路を明確にし、日常の学習に力を入れさせたい。 (4) 隣接の大学と協力して、実験や実務的な学習を行わせたい。その中で、高校までの基礎学習の大切さを理解させたい。 (5) 読書離れが進んでいる。メディアセンターを中心に、新たな企画を生み出していく。	(1)・(2) 観点別評価と平常点の開示を行い、生徒が学習の到達度を可視化できるようにする。週末課題を課し、家庭学習のきっかけを作る。 (3) 将来の進路を考えさせる。これに向けての進学や就職試験等、計画的に目標を持って取り組ませる。生徒と教員の二者面談の充実、進路情報の拡充が必要。 (4) 土曜実施のサタデーゼミナール拡充と保護者向けにサイエンスカフェを実施する。 (5) メディアセンターで具体的な目標を定めてもらい、目標達成に基づいた取り組みを行ってもらおう。	-	-		
		(2) 家庭学習を身につけさせる。	(2) 約70%の達成度。生徒4.6%増、保護者0.7%減、教職員5.3%増。	(2) 家庭学習の定着を三位一体となって定着させる必要がある。							保護者 70.2%	保護者 71.7%
		(3) 学習意欲の向上に努める。	(3) 約73%の達成度。生徒5.1%増、保護者1.6%増、教職員0.8%増。	(3) 学習意欲が増す方策を検討する必要がある。								
		(4) 東海大学と連携した授業やプログラムの推進を図る。	(4) 約74%の達成度。生徒4.5%増、保護者1.3%増。	(4) 付属校のスケールメリットを活かす方策を検討する必要がある。	教職員 71.0%	教職員 69.5%						
		(5) 図書室の積極的な利用を促進する。	(5) 約52%の達成度。生徒6.3%減、教職員6.4%増。	(5) 活用について、根本的に見直す必要がある。								
クラス指導	・生きる力の育成に励む	(1) 教職員・保護者が連携し、生徒の人間関係の構築に努める。	(1) 約79%の達成度。保護者1.4%増、教職員1.1%増。	(1) 人間関係は学校の基本。さらに良い関係を構築する努力が必要。	生徒 82.2%	生徒 77.5%	(1) 多様性を認め合い、相手を尊重する人間関係の構築が大切である。共同作業や講演等、様々な方法を用いたい。 (2) 生徒の表情や様子を注意深く観察し、違和感を感じたら保護者に相談、生徒への声掛けなど適宜実施したい。 (3) 楽しいとの声を多く聞く。決まり事を守りつつ自由を楽しむよう指導したい。 (4) 行事の中止に伴い、機会も減少した。今後の新型コロナウイルス感染状況とその対応に基づき、その機会を増やしたい。	(1) 引き続き、保護者とマメに連絡を取り合って対応していく。初動対応が重要となるため、早い段階で保護者に連絡を入れる。 (2) 学級担任だけでなく、教科担当者にもしっかりと生徒の様子を見てもらう。様子がおかしいと感じたら、躊躇なく声を掛ける。 (3) 引き続き、楽しい学級運営に努める。学校全体として、個性を尊重する雰囲気醸成する。 (4) 感染予防に努めつつ、行事を復活させる。学年別やマスクの着用等で実施していく。	-	-		
		(2) 生徒の悩みや問題相談に努める。	(2) 約76%の達成度。生徒3.8%増、保護者1.3%増、教職員0.2%減。	(2) 悩みや問題を早期発見し、適切に対応していくことが必要。							保護者 78.7%	保護者 77.0%
		(3) 楽しいクラス運営に努める。	(3) 約84%の達成度。生徒5.3%増、保護者2.6%増。	(3) 概ね良好。自由と好き勝手を混同させないよう注意したい。								
		(4) クラス・学校の一員としての役割・自覚を促す。	(4) 約79%の達成度。生徒5.7%増、教職員0.2%減。	(4) 行事の中止が相次ぐ中、いかにして役割を持たせるか検討する必要がある。	教職員 77.5%	教職員 77.2%						

2021年度東海大学付属熊本星翔高等学校 学校評価結果

分野	重点目標	取組み計画・内容	分野の達成度		今後の改善策	次年度 取組み内容の改善	第三者評価			
			成果	課題			2021年度	2020年度	自己評価 妥当性	改善策 妥当性
生活指導	・生活習慣の定着を徹底し、落ち着きのある学校生活環境づくりに努める。	(1) 礼儀や挨拶の励行に努める。 (2) 頭髪・服装など身だしなみと登下校時を含む公共マナーの遵守に努める。 (3) 清掃や整理整頓に努める。 (4) 施設・設備・備品等を大切に使用させる。	(1) 約73%の達成度。生徒12.1%増、保護者0.2%増、教職員1.5%減。	(1) 生徒と保護者・教職員に開きがある。この差を埋めていくことが必要。	生徒 84.5%	生徒 78.2%	(1) 生徒に挨拶を求めるのではなく、教職員側から行っていく。生徒に対して礼儀正しく対応する。 (2) 近い将来実践していくビジネスマナーを教育し、挨拶・服装・公共マナーについても理解を深めさせたい。 (3) 自分のものは最後まで責任を持って片付けることを徹底させたい。 (4) 学校の備品は全体のもの、机や椅子等は個人へ貸与している物であることを再認識させることが必要。	(1) 教職員が率先して生徒へ挨拶を行う。また、その際にちょっとした声掛けを行う。教職員が生徒に礼儀正しく対応していく。 (2) ビジネスマナーの教育とともに、生徒を大人の一人とみなして対応する。不足があれば、事例を用いて丁寧に説明していく。 (3) 教職員が率先して清掃や片づけを行う。汚い環境では生徒も気にならない。汚してはいけない、乱してはいけない雰囲気を作り出す。 (4) 破損や汚損は調査のうえで、著しく生徒に非があれば弁済してもらう。	-	-
			(2) 約71%の達成度。生徒4.0%増、保護者1.6%減、教職員3.1%減。	(2) 身だしなみ・マナーについて、全体的に検討が必要。	保護者 75.7%	保護者 76.2%				
			(3) 約77%の達成度。生徒6.0%増、教職員1.1%増。 (4) 約70%の達成度。教職員1.1%増。	(3) 引き続き、環境美化に努めていく必要がある。 (4) 改善の必要がある。	教職員 67.0%	教職員 68.2%				
進路指導	・上級学校への進学を促進する。	(1) 進路に関する情報提供に努める。 (2) 進路に関する指導・面談に努める。	(1) 約79%の達成度。生徒4.5%増、保護者1.4%増、教職員6.5%増。	(1) 情報提供は多いほど良い。選択肢を増やすためにも、積極的に発信したい。	生徒 80.5%	生徒 76.7%	(1) ・(2) 学年に応じて、段階的に計画的な情報発信に努める。情報発信のみならず、将来のビジョンについて、各家庭で考えてもらうよう促していく。進路を早い段階で確立させ、これに向けての取り組みを具体化していきたい。保護者も一緒になって子供の将来について考えてもらい、進学に必要な学資も把握できるよう働きかけたい。	(1) 学校配信メールを利用して、情報発信に努める。保護者会を開催し、大学や専門学校での学びが職種にどのように影響をするのか発信していく。 (2) 三者面談で具体的な話が可能となるよう、事前にポイントを絞った資料や方法を発信しておく。また、大学との連携イベントであるサイエンスカフェで、保護者に大学での学びと職業について関連性を認識してもらう。	-	-
			(2) 約79%の達成度。生徒3.6%増、保護者1.1%増、教職員2.5%増。	(2) 現状、三者面談の実施回数を増やすことは厳しいが、1回の面談では各家庭への情報不足。	保護者 74.0%	保護者 73.0%				
					教職員 81.0%	教職員 77.5%				
特別活動	・部活動の更なる推進を図る。 ・生徒会活動の充実を図る。	(1) 学校行事、生徒会行事への積極的な参加を促す。 (2) 教職員は部活動の指導に熱意を持って取り組む。	(1) 約77%の達成度。生徒3.6%増、保護者0.8%増、教職員2.5%増。	(1) 政府の新型コロナウイルスへの対応に従って、徐々に行事を増やしていきたい。	生徒 83.0%	生徒 79.7%	(1) 現状として、学校行事の完全復活がいつになるのか見えない。行事が減る中で、感染リスクが低く、各生徒に役目を与えることが可能なものを探していく必要がある。 (2) 部活動については、新型コロナウイルスの制限が段階的に緩和されてきた。感染による活動制限に陥らないためにも、練習前後も含めて指導が必要である。長時間の練習はリスクも高まることから、短時間で効果的な練習へと意識を変えていくことが重要である。	(1) クラスマッチや体育祭等のイベントが開催できるよう、感染対策を綿密に検討する。引き続き、献血等の活動を通じて社会貢献の意識を高めていく。 (2) 短時間で効果的な練習を検討していく。勝利至上主義ではないが、努力が実ったと実感できる成功体験を生徒に与える。部活動によって実現可能な目標と最高とする目標を設定し、実現に向けて計画的に実行していく。楽しく安全に実施できるよう、教員は工夫と配慮を行う。	-	-
			(2) 約87%の達成度。生徒2.9%増、保護者2.0%増、教職員0.5%増。	(2) 概ね良好。熱心に取り組むのは良いが、文科省・文化庁のガイドラインに従った活動を促したい。	保護者 77.5%	保護者 76.0%				
					教職員 81.0%	教職員 79.5%				
第三者評価委員 (2021年3月18日回答期限)		<p>〔第三者評価委員からの意見〕</p> <p>○学校経営の方針が教育活動の実践と密着し、各分野で成果をおさめるための努力が十分になされている。教育関係の中学校・生徒・保護者・地域からの高い評価が得られる取り組みがなされていることを確信しました。</p> <p>○所要で何事となく学校まで足を運ばせて頂きましたが、先生方の丁寧な対応に加え、生徒たちの気持ち良い挨拶と清々しい表情にいつも感心しております。教育の成果の一つが生徒の表情そのものと捉えています。</p> <p>○コロナ禍での学校運営、各種ご指導や各種活動は大変なご苦労があったことと思います。また、このような状況下で昨年同等の評価であったことは、先生方大変なご努力があったことと思います。今後もよろしくお願いいたします。</p> <p>○アンケートにつきましては、正直答えづらいところがありました。第三者として現状が見えていないところもありますので、星翔高校のますますのご活躍を祈念申し上げます。</p> <p>●本年度(2021年度)第三者評価委員会では、書面による委員会とした。資料には生徒・保護者・教職員の学校評価アンケート集計結果の分析と自己評価、改善計画の説明。これに基づいてアンケートに回答していただいた。</p> <p>次年度(2022年度)の第三評価委員会では、事前に学校の様子や取り組みを可視化する資料を送付し、委員会ではこれを補足する形でご評価をいただくよう改善していく。</p>								